

海原

題字 河原孝好先生

発行
平成28年5月1日
第43号
海原会
発行人 徳光和夫
編集責任者 小西洋也
〔海原会事務局〕
〒169-0072 東京都新宿区大久保3-6-1 海城学園
TEL 03-6233-9631 FAX 03-6233-9641
ホームページ URL <http://www.unabarakai.jp>

祝 学園創立125周年 海原会発足95周年

海城学園は今年11月で開校125周年を迎えます。また同窓会・海原会も大正10年の第一回総会以来今年で95周年を迎えます。母校のグラウンドは人工芝に変わり、教室には電子白板、無線LANが整備され様変わりです。海原会ではこの125周年を記念した学園誌の発行を計画しています。海原会総会でお会いしましょう。

（石原長夫海原会副会長）



第95回海原会総会のご案内

平成28年6月11日(土) 午後3時～(2時受付開始)

会費／3,000円 学生1,000円 本年度卒新会員は無料

総会後カフェテリアにて懇親会を行います

同封の返信用はがきで出欠をお知らせください

締め切りは5月末日です

※海原会は皆様の会費で運営されております。

海城学園125周年記念本の発行についての原稿募集

海原会では学園の125周年を記念して「卒業生からみた学園史」を作ること計画しております。会報で特別企画として掲載していますように、皆様の過ごされた時代時代の「学園生活の思い出」をまとめて本にしたいと考えております。編集制作は海原メディア会で行います。尚、紙面調整等のため、編集部の校正が入る場合があることをご容赦ください。出版は年末の予定です。

募集内容

原稿 1200文字程度にまとめたもの 顔写真付(氏名、卒業年をお書き添えください)

資料 写真など

締め切り 8月末日

送り先 メール jimukyoku@unabaramedia.com

郵送 海原会事務局 海原メディア会宛て
〒169-0072 東京都新宿区大久保3-6-1 海城学園内

海原会への問い合わせは

TEL 03-6233-9631 FAX 03-6233-9641

HP <http://www.unabarakai.jp>

お願いします。

TELは常時留守電のためFAXかHPでのご連絡が迅速です。学園への連絡はご遠慮ください。

お知らせ/ 掲示板

海城高校を卒業していない方の入会

海城中学校卒業後、他の高校に進学した人、引越等やむを得ない理由で転校・中途退学をした人も海原会に入会が可能です。該当されて入会希望される方をお知りの場合、海原会までご連絡ください。

会則 第2章 第5条(抜粋)

- 一 海軍予備校 二 日比谷中学校
- 三 海城学校 四 旧制海城中学校(この学校の4年修了者も含む)
- 五 海城中学校 六 海城高等学校

前項各号に掲げる学校のいずれかに在籍した者又は本学園に縁故のある者は、常任幹事会の推薦により、会員となることができる。

年会費の納入について

「年会費を何年も納めていないので、海原会に顔を出しづらい」という声をときどき耳にします。海原会では年会費を納めなかった方に対し、さかのぼって請求することはしていません。本年度分からお納めください。

毎年6月に行われる総会でも会費の納入を受け付けています

【会報バックナンバー閲覧パスワード】

ホームページの活動レポートから会報のバックナンバーの閲覧ができます。

閲覧にはパスワードを設定しております。ユーザー名はkaihouです。

パスワード：2016年5月14日までは「125:kAijo」

2016年5月15日からは「k125.U95」

自薦他薦、海城OBのお店情報をお寄せください。

海腹グルメ ⑥

リブズ スペアリブ専門店
小岩LIVES(小岩)

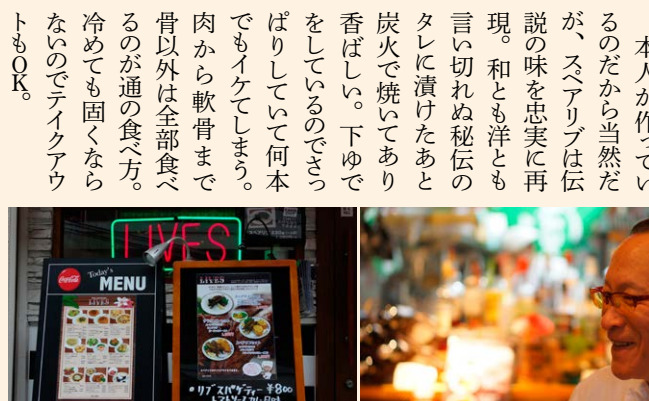
ロス支部の宮田稔丈さんからメールが届いた。「伝説のスペアリブの店をやっている人が同期にいる」
ジャカルタで濱田雄二さんから伺った。「江波杏子の弟が同期にいる」
地球のあちこちから紹介されたのは同一人物 野平義幸さん(昭45)だ。海城時代はラグビー部。実家が寿司店だったこともあり、卒業後は飲食の道へ。80年代、オープンした「六本木」で「BBQ」でスペアリブを出したところ、大当たり。行列のできる伝説の人気店になった。六本木でスペアリブを出す店は他にアントニオ猪木氏がオーナーの店もあったが、最終的に生き残ったのは「六本木The Barbecue」。野平さん、アントニオ猪木に勝っちゃった！

その後、拠点を名古屋に移し、東京に戻ってきたのが2年前。「小岩LIVES(リブズ)」をオープンした。



スペアリブは英語にする「spare ribs」な「ゆえ」なの。Livesはバンド活動と引つけてます。今もベースを弾いているんですよ」と野平さん。見回すと60年代アメリカンダイナー風の店内にはプレスリーのピクチャーレコードがずらり。ジュークボッ

クスから流れてくるような音楽は若い人にも懐かしい。本人が作っているのだから当然だが、スペアリブは伝説の味を忠実に再現。和とも洋とも言い切れぬ秘伝のタレに漬けたあと炭火で焼いてあり香ばしい。下ゆでをされているのでさっぱりしていて何本でもイケてしまう。肉から軟骨まで骨以外は全部食べるのが通の食べ方。冷めても固くならないのでデイクアウトもOK。



自家製梅ドレッシング卵黄添えはあっさり濃厚が同時進行でビールが進む。野菜たっぷりのサイドディッシュも充実している。女性にもうれしい。男同士でガッツリ肉！もいいが、デートにも家族連れにもピッタリ。もちろん、名女優江波杏子さんの最新情報もゲットできる！

★特典★

初回来店に限り、平成28年6月30日まで予約時に海城OBであることを告げるとファーストドリンクがサービスになります。

小岩リブズ

東京都江戸川区西小岩1-19-34
フクダビル101

TEL 03(3659)2002

営業時間 17:00～23:30 水曜定休
(国井信男 記)

編集後記

◎海腹グルメの情報を多数いただきありがとうございます！掲載待ち状態の名店多数です。(国井)

◎例えば教師と生徒が同じ教室に居る。必然性は何もないんです。人と人をつなげているのは「縁」なんです。面白く思います。(山本)

◎大分生まれとして一日も早い九州被災地の復興復興を願ってやみません。(岡本)

◎座談会に出席して先輩方の元気な生き方にパワーを頂いた。(石原)

◎昭和16年4月小学校が国民学校と名が変わり初めての1年生になる。その年の12月太平洋戦争に突入。同年8月敗戦。22年新制中学発足、初めての1年生、焼け跡に校舎の建設が間に合わず海城に居候、共学。やがて女子六人が海城高校を卒業した。(昭和9、10年生まれ)。(片山)

◎熊本地震、被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。前号で紹介した小野泰輔さん(昭5年卒)は熊本県副知事を務めている。日夜対策に奮闘していると友人からの報。同期同窓の支援の輪も広がっている。(小西)

編集担当

山本 満男 (S27)
片山 忠美 (S28)
石原 長夫 (S33)
小西洋 也 (S41)
大町 一夫 (S51)
国井 信男 (S62)
岡本 浩太郎 (H02)

今年の卒年表彰対象年次

総会に出席した対象年次の方々には記念品を贈呈いたします
お誘い合わせてご出席ください

- 祝卒業60年… 昭和31年卒
- 祝卒業50年… 昭和41年卒
- 祝卒業40年… 昭和51年卒
- 祝卒業30年… 昭和61年卒
- 祝卒業20年… 平成8年卒

地域分科会

「北総海原会」が発足

学齢を超えて地域で交流

サクラ咲く4月3日 京成八千代台駅前ビルの「洋食亭ブーラムス」において第一回親睦会を開催した。「北総」とは千葉県の地域名で在住の海原会又は縁のある方々が集まるOB会です。今回参加した方は佐倉市・八千代市・船橋市・松戸市から14名が来て頂いて和やかに開催した。中でも海城出身の女性中川弓さんも来てくれて華を添えてくれた。彼女は八千代市に「中川弓バレエスタジオ」を経営しているからである。宴会はビールで乾杯から始まり近況報告を交え自己紹介をした。考えてみれば学齢を超えて合流することは海原会総会を除いて稀少な団体ではないかと思っている。面白い事に隣近所に住んでいるみたいに至近に居たことは、尚更緊密感が



湧き、「なあーんだ、あそこに住んでいたのか」と言う調子だ。時がたつほどに盛り上がった。卒業アルバムを持つてきて海城時代を見せ合って当時の事を懐かしんだり、社会人の時に会社関係で若しかして会ったとか、登山好きの学校教材の販売会社の方は、車で教材を運ぶのに学校の階段を上る訓練だとか大笑い。更に期せずして数人が海原会の新旧役員だつたりして、特に海城学園の最近まで事務長だった森山さんも出席され海城の現況に耳を傾け会を盛り上げてくれた。いわんや、憂慮すべきは社会生活で忙しい人、地元根を張る人、事情あって海城に縁遠くなり、孤立化する方が無きにしても非ずと思う。今回「自分の街にこんな先輩後輩が居たんだ！」ことに驚き、再び母校への帰巣本能を掻き立てれば、幸いだ。最後に蒼々たるメンバー？、一人早退したが記念撮影に及び次会を約して散会した。

(北総海原会会長 山本満男)

成人を祝う会

180人が母校に集う

1月10日(日)海城学園カフェテリアにて平成26年卒有志の企画立案により「成人を祝う会」が開催されました。海原会の若い会員の集まりとして3年前から海原会もこの会を支援しています。多くの卒業生とともに恩師も出席し、和やかな会となりました。全員が中高6年間を海城で過ごした彼らにとって、母校は住んでいる町よりも故郷に近い感覚のようでした。(広報委員会)



ありがとうございました

この度海原会のご支援を受けまして平成26年卒の「成人を祝う会」を成人式の前日1月10日に開きました。全体の7割に当たる180人超の人数が集まり盛大に会を行うことができました。2年前の卒業式以来に会う旧友たちはどこか海城生らしさが残りながらも成長した部分が皆あり今後の活躍が楽しみに思えました。

(当代生徒会長 村野元紀)

海原会グッズ

お待たせしましたー売り切れだった帽子が再登場。定番のTシャツポロシャツも販売中です。ホームページFAX・TELにてご注文をお受けします。氏名・卒業年・送付先電話番号・ご希望のグッズの品番サイズをご連絡ください。

お支払いはグッズに同梱した書類に書かれた口座番号にお振り込みください。※会報に同封されている振込用紙はグッズ代金の支払いには使用しないでください。

ホームページ: <http://www.unabarakai.jp>

※トップページ右上の「海原会へのお問い合わせ」(「連絡」)より

FAX 03-62333-9641

TEL 03-62333-9631

※TELは留守電です。うまく聞き取れない場合もありますのでなかなか到着しない場合はお手数ですがもう一度ご連絡ください。

C1	2500円(税込)
C2	2500円(税込)
C3	2600円(税込)
P1	2100円(税込)
T1	1100円(税込)

※別途郵送料等がかかります。
シャツのサイズ目安
M 170センチぐらいまで
L 175センチぐらいまで
XL 175センチ以上



海原会サロン開設します

今年は9月17日(土)・18日(日) 母校見学、待ち合わせ等にご利用ください

海原会サロンは今年で7回目を迎えます。今年は海城学園創立125周年、海原会設立95周年という節目の年でありま

歴史、変遷をメディア会の協力を得て展示します。開催中の学園祭で講演や模擬裁判をする土業、海志会など分科会の協力を得て充実したものにしたいです。

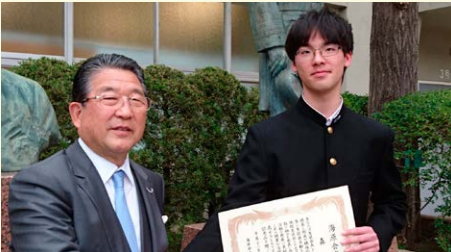


人気のあるのは「時代を創った海城人」紹介コーナーで、過去の人物から現在活躍中の人を展示紹介しています。文武両道最近の海城OBの傾向を見てみたいですね。そしてゴルフ会、見学会の実施状況や総会、吹奏楽団演奏会、高校野球大会応援などの活動状況をビジュアルに分り易く紹介します。このサロンを待合わせや休憩の場所としてもご利用ください。ブランドینگ部会によるグッズの販売は各種の品揃えも出来好評です。

(支配人 33年卒 石原長夫)

海原会賞

今年は生徒会長の森 崇久君に



海原会では卒業生の中からユニークな活動を特に功績のあった卒業生に対し、海原会賞を贈っています。平成28年卒業生からは森崇久くんが受賞しました。森くんは生徒会長として執行部を良く統率し、部員の積極的な提案を促して実り多い生徒会活動を実現したこと、他校生徒会との交流会を主催して、互いに取り組みを発表し合うなど広く高校生徒会活動の発展に貢献したという功績を認められての受賞となりました。(広報委員会)

海城吹奏楽団

第23回定期演奏会



海城吹奏楽団の定期演奏会は今年で23回を迎えました。会場は中野区の大ホールで変わりましたが、これまで5月の連休最終日の昼に開催されていたのが、今年から春休み中の平日の夕方からの開催となりました。

今回のテーマはダンスということで、幅広いダンスナンバーが演奏されました。タング、ミュージカルはもちろんのこと、ポップスからマイケル・

ジャクソン「スライ」、映画からシャルウィダンス、果てはドリフのひげダンスまで。粋から笑いまで



取り込んだ見応えのある構成。48名の生徒たちは佐藤晴久さんの指揮の下で、みずみずしい音楽を奏でていました。海城吹奏楽団は定期演奏会以外にも卒業式などの節目や高校野球の応援などの他に、海原会総会でも演奏をしています。海原会では海城吹奏楽団の活動を応援しています。(広報委員会)

見学会

新しい発見…行ってみませんか

今年で見学会は6回目を迎えます。毎年好評を戴き参加者も増え、特にご家族も参加頂き、いい雰囲気です。が、ホントに有難うございました。やはり、何と言っても気楽に行けて、趣を感じて楽しむ事。今までの見学会の参加頂いた方々から感じ取ることが出来ました。

そこで今回もごく身近な場所を求めて目下検討中です。例えば豊南坂を下りると溜池に着く。今はこの瓢箪池は無いが、この辺りは佐賀鍋島藩邸のあるところ。鍋島藩と言えは古賀喜三郎が通ったところではないかと想像がたまりま

しくなります。また、海軍を作った勝海舟の居宅はどの辺だろうとか。ついでにTBSの赤坂サカス、などなど。昔はこうだったんだ。戦後はこうなったんだ、とか想像にたどりつけ、うなずけるそんなところを考えております。

催行予定は秋口と考えており、正式ご案内告知は海原会ホームページ・海城祭の海原会サロンなどでお知らせします。どうぞ多くの知人友人お誘い合わせのうえ参加を待ちしております。

第5回海原会ゴルフ大会 参加者募集!!

5回目の記念大会です 多数のご参加を

海原会ゴルフ会実行委員長 昭和47年卒 石黒淳一郎



海城学園同窓生の皆様、今年の海原ゴルフ大会は、私が実行委員長をさせて戴いてから3回目の集いであり、早くも5回目という節目の大会になります。今回は節目の記念大会として、いつもとは違う内容を色々と企画しております。いつもご参加戴いておられる方、今回の記事が初めて目に留まった方、ゴルフが苦手な方、そして全ての海城学園ご出身の方々、是非この記念大会にお集まり下さいませ。常にブリーメーカーの可能性がある私が参加しますから、成績順位の程はご安心ください。秋の野外にて、清々しい一日を楽しみましょう！徳光和夫・海原ゴルフ会会長も皆さまのご参加を心よりお待ちしております。一人でも多くのご参加をお待ち申し上げます。

開催要項

ゴルフコース **大栄カントリー倶楽部**
〒287-0214 千葉県成田市横山638
Tel : 0476(73)5522 <http://www.taiei.cc/>

開催日時 **10月14日(金)**

会費 プレー費 **17,000円**
参加費 **5,000円**
高齢者割引あり 受付で身分証明書提示

競技 新ペリア方式

クラブバス 事前予約のうえ高速バスのバス停から送迎
詳細はコースのHPを参照してください

申し込み方法

出欠はがき 会報に同封されている 総会ハガキの下部にゴルフ大会参加申込欄があります。チェックして返送ください。
FAX 03-62333-9641 (海原会ゴルフ会事務局 宛)
メール 海原会ホームページの「海原会へのお問い合わせ・ご連絡」から海原会ゴルフ会事務局宛へ送ってください
<http://www.unabarakai.jp>

申し込み締め切り **7月末日**



(見学会世話人 27年卒 山本満男)

海城ということ

蒲田 中学に入るときは男子校とか海軍予備校の海城という意識は全くありませんでした。普通の区立中学に入ると意識でした。

片岡 私も友達に紹介されて私も入るとい感じで。

片山 意識したのは2年の時よ。区立中学の校舎ができて受け入れもできるようになったので移った人もいたけど、結局そこでのこたかどうかね。その時の決断のほうが高校進学の時よりも大きかった。

蒲田 中学は入学時4クラス男女半々でした。2年の時区立に移る人が半分、クラスも2クラスに減って、3年の時は1クラスで女子は10人残っていました。

片岡 高校はどこか受験しようかと思ったこともあったけど自信もなかったし。

蒲田 同期の小川京子さんという人が進学するからみたい。そのまま行くのが当然という感じになっていました。



片山 私たち疎開から戻ってきた人ばかりで周りには子供のことから緒という人がいないので、他の友達といつも交流ないし海城の人たちだけでしたから。

高校に入っとうでした

片山 蒲田 片岡 トイレ、それと体育が嫌でした。体育はほとんど観ていることが多かった。

蒲田 先輩方には特攻隊の服を着た人もいましたね。皆すごく大人に見えました。先生方はのんびりしていたのではないですか。職員室で将棋していたりしていました。受験ということもなかったです。

片岡 上級生は優しくかった。可愛がられて。小さかったからね。



蒲田 女子高へ行けば自分たちで全部やらなくていいでしょう。でも海城では男の人は全部やってくれるの、頼っちゃいます。

片岡 海城時代はよかった。これは戦争のお陰ですね、戦争がなければこちらに入

ることはなかったですから。

片山 私にとっては何がどうこうという訳ではないけど、生きる上での海城での生活は大きい。男と同じように生きなければいけないという気にもなりますしね。

食料難・物資不足の時代

小学校入学時（昭和16年）が開戦、その年の12月に学校は国民学校に変わった。そして5年生のころは学童疎開や縁故疎開で東京を離れ、敗戦後戻った時は家も消失という経験をしている。

蒲田 制服はなかったです。着るものがないという時代だった。男子は下駄は当たり前という時代だった。体操の時間は運動靴などなく裸足でした。

片山 食料は大変でしたよ。弁当？ 米のご飯は少なかった。持っていない人も多かったですよ。学校でパンとか売っていた、コッペパンとか。おなかすいておなかすいて、重湯みたいなお粥食べて、本当に何にも無くてね。スイートでも食べられればいいですよ。

片岡 学校は歩いて行っていました。海城の裏は畑でした。防空壕みたいなのがまだ残っていてそれを見ながら通っていました。

蒲田 配給がありました。靴とかカバンとか、いくつもありません、クラスごとに。それをじゃんけんとかで決めてました。私はカバンがあたったことがありました。中学一年のこ

とですね。

片山 高校1年でしたか日光（修学旅行があったのですが、お米を持って行きましたよ。蒲田 高校の1年か2年のころ、朝鮮戦争（昭和25年）がある前までは厳しかったですよ。ヤミ米を食べないで死んだ検事さんがいたでしょう。厳しかった時代です。

片山 私は新宿で靴磨きをしていて、それが生活の糧だった。同級生にじめられたけどかばってくれたひといました。

蒲田 中学で辞めた人も多かった。高校へ進学しない人が多かった時代。

学園生活の思い出

片山 演劇ですね。中学1年時、上級生が熱心で張り切っていて、生徒が企画していることやりました。音楽の向出先生も劇の音楽を作曲してくれたりしてミュージカル仕立ての劇をやったこともあります。演劇部で上級生の砂田さんとか熱心で。年に一回、講堂で公演したり、学外の仲間と一緒にやったりもしました。

片岡 文化祭で高校生に交じって中学のとき女生徒は演劇に引っぱり出されました。

蒲田 演劇のコンクールに出たこともあったわね。私



片山 運動会は楽しかった。上級生の男子が紫の鉢巻を横に締めて助六みたいにかっこよかった。

蒲田 小学校の運動会とは全然違ってたのね。運動会では女子は応援してましたが、徒競走はやりました。男子は騎馬戦とありました。

この時期、戦後で運動会をやること自体珍しかった。ニュースとなって新聞社のセシナ機が取材で海城のグラウンド上空に来て、花束を落としたことがあったというエピソードがある。

俳優早川雪洲 片岡 中学3年の時早川雪洲の講演があっ

座談会

海城に女生徒がいた時代

海城学園125年の歴史の中で6年間だけ女生徒がいた時代があった。敗戦から復興に向かう昭和22年から28年のことだ。新制中学の発足に受け入れ校舎が間にあわない新宿区の要請を受けて海城も一年だけ中学生を受け入れたことによるのだが、その中の6人が高校に進学して卒業した。戦後混乱期の「奇跡」のような一時期である。今回はこの当事者である片岡清子さん（旧姓永井）、蒲田泰子さん（旧姓尾本）、片山時子さん（旧姓中川）に当時の思い出を語ってもらった。

海城卒のハリウッドスター早川雪洲に花束を贈呈する安田さん



たわね。安田きよこさんが花束あげていた。

蒲田 共立講堂で海城祭文化祭をやったことあった。

片山 中学2年の時鎌倉に遠足。写真も残っている。3年の時は長瀬に行った。

蒲田 江幡先生は音楽と家庭科の担当でした。エプロンとか浴衣とか作ったことがある。学校にミシンはなかったですね。

片山 中島先生、永井先生、山縣先生は女の子を避けるよね。

片岡 屋上でよく写真を撮ってくれた先生。蒲田 亀田先生ね。女生徒だけよく撮って焼いた写真をいただいたわ。

男子高の意識 女性徒が高校に入った時学校では「女生徒に手を出すな」というお触れが出された。それもあってか男子生徒は女生徒に気を



片山 私はラブレターをもらったことあったの。だけど落としちゃったのよ。それが小使いさんに拾われてでばれた。ちよと騒ぎになったことがあったわ。「中川さんの温かい手」とか書いてあるの、手も握ったことなんてないの。

蒲田 私も同級生の人がいる上級生から私に手紙を渡しくれと預かったけど捨てちゃっ



たつて、そんな話がありました。渡してくれたらよかったのね。

片岡 男の人は優しくかったですよ。いまでもです。

片山 考えさせられること多かったわね。勉強というより人生を教えてくれた。面白かった。

蒲田 男子校の雰囲気そのまま。洋裁苦手、どっちかという男っぽくなった。

片山 女になれなかった。

蒲田 でも女子高に行ったら演劇など出

のような学生を補導見回りする人もいましたという状況だったけどそこは男子校「二年先輩の代が修学旅行で他校の生徒と喧嘩をしたことがあって我々の時修学旅行が取りやめになったことがありましたね」

軍事色がつよくなったころ体力検定というのが行われた。「100メートルを15、6秒以内で走るとか、米俵1俵（60キロ）のかわらを担いで50メートル走るとか。初来たという感じでした。しかしそのわずか一週間後の、12月8日に太平洋戦争がはじまった。その中で戦闘機乗り手を挙げ、飛行学生として訓練を受けたあと戦中は教官として内外地に派遣されましたが、結局終戦を霞ヶ浦の航空部隊で迎えたといひます。最後にボツリ「中学の同期で私より一年早く兵学校に合格して72期生となった高島君は戦死してしまいました」と増田さん。（取材まとめ 小西洋也）

あの頃の学園生活——昭和初期編3 我々はここで育てられた



昭和16年卒 増田 弘さん

昭和11年に海城に入学する。「父親が病気で海軍を退役し、父の後を継ぎたいと早くから思っていました」。

それ以外にもちろんクラスは成績優秀な人が集まった東組。ひたすら勉強し兵学校を目指す学園生活だった。しかし体が小さく弱かったたので「中学の教練では三八式銃ではなく、騎兵团用の小さな銃を持たさ

兵学校へは「5年になつた時ダメ元で受験しました。結果は不合格だったのですが、体格検査はB合格だったので、体力面での心配はなくなりました」。翌年再受験して念願の「海軍兵学校73期生となりました」。

海軍兵学校を目指す

「同期では3人が兵学校に行きました」。当時、海城からは「陸軍には10人ぐらい受かったと思う。海軍の方が難しかった」。

入学当時の状況 昭和11年ごろ 「渋谷、新大久保間の定期券が一年で10円でした」。昭和15、6年には物資不足が目立ってきて「タバコや砂糖は配給制、お米も切符制で2合しか買えなかった。皮製品が逼迫し、革靴などはなかった。下駄履き登校も多かったですよ」「弁当を持つて行きましたが、学校にパン屋が出ていて、カレーライスで売っている。御飯だけ持ってきてカレーを頼んで食ったりした人もいました」。また勤労奉仕では「陸軍の兵器廠に大砲の薬莖磨きをやった」ことを思い出す。



役になりまし。あこがれの兵学校へ

は天文部にいたのですが、文化祭でひっぱり出されて「チルチルミチル」とか「山の彼方に」とかやった。



片山 当時演劇部は美術部の中にあっただですよ。文化祭でクラス別の演劇をやったりしました。今思えば何にもないころで、なにか文化的な飢えや開放感がすごかったでしょうね。学校も自由な空気がありました。

授業で映画鑑賞

蒲田 授業で映画を見に行ったり、上野の美術館に見に行ったりしたことあった。後で感想文を書くのですがよく行きました。片山「育ちゆく年」、レーガンが出ていた映画があった。彼は準主役だったわ。

永井「小鹿物語」とか「シベリア物語」とか洋画でした。邦画はなかった。

運動会

片山 運動会は楽しかった。上級生の男子が紫の鉢巻を横に締めて助六みたいにかっこよかった。

蒲田 小学校の運動会とは全然違ってたのね。運動会では女子は応援してましたが、徒競走はやりました。男子は騎馬戦とありました。

この時期、戦後で運動会をやること自体珍しかった。ニュースとなって新聞社のセシナ機が取材で海城のグラウンド上空に来て、花束を落としたことがあったというエピソードがある。

俳優早川雪洲

片岡 中学3年の時早川雪洲の講演があっ

してはもらえないでしょうね。女の人が少なかったたので劇に出たこと、とてもいい思い出です。親が「必要ない」という時代だった、行きたかったけど。

卒業後

蒲田 男子も高校で就職とか進学するひとはそれほど多くはなかった。高校を出ればいい方でした。中学で辞める人も多かったですね。

片岡 女子の大学進学はほとんどなかったです。親が「必要ない」という時代だった、行きたかったけど。

蒲田さんは永田先生の紹介で海城事務に就職。昭和28年から34年まで8年間勤める。片岡さんは卒業後しばらくして同級生と結婚。

片山さんは子供のころからやっていたバレエで自立。バレエ教室を主宰している。

（取材まとめ 片山忠美・小西洋也）

兵学校は8月に受験で12月1日に入学することになっている。「試験は3日間あって一日ごとに結果発表、その都度ふるい落とされる。最終に残っても、最終通知は11月3日にくることになっているのですが来るまでは心配で・・・江田島に11月末に来るようという合格通知が来た時にはほんとしました。江田島に行った時には、ついに来たという感じでした。しかしそのわずか一週間後の、12月8日に太平洋戦争がはじまった。その中で戦闘機乗り手を挙げ、飛行学生として訓練を受けたあと戦中は教官として内外地に派遣されましたが、結局終戦を霞ヶ浦の航空部隊で迎えたといひます。最後にボツリ「中学の同期で私より一年早く兵学校に合格して72期生となった高島君は戦死してしまいました」と増田さん。（取材まとめ 小西洋也）

昭和18年卒 長松幹榮さん 寄稿



私は父が海軍軍人の故、横須賀に生まれ育った。通学した小学校が陸軍重砲兵聯隊練兵場の一面にあったため、陸軍兵と特に親しくなった。海軍兵は上陸するとカフエーの女給さんたちと連れだつてよくもてる姿を見かけた。街角で千人針を縫う姿があるかと思えば、「ジョーズのライトに照らされて紅の涙にぬれて踊るのよ」という「踊子の唄」が流行していた。世情はまだゆとりがあった。

海城中学校には「ピリ」に近い成績で合格した。昭和13年から5年間お世話になり内容的には豊かであり楽しかった。一年北組の担任は本校明治三十五年卒の大先輩、有吉豊先生であった。不出来な私たちに如何にして「誇り」を持たそうかと苦勞され

た。まだ海軍予備校時代の名残がありラッパにて行動する授業を受けて育った。吉見乾海校長の思い出



越後長岡藩 医吉見雲台の長男として生まれ、海軍に身を投じ創設者古賀喜三郎

吉見校長

二人の校長と先輩の思い出

先生より後事を託され大正3年校長となる。従つて私たちが在学中したころは晩年にあたる。その人間味は越後特有の忍をもつてその貴禄は接した者でないと分らない。校長は海軍兵学校教頭兼監事長だった、その重責豊かな体験から、その兵学校教育の一部を引用し生徒に理解させた。また「英仏の租界の存在する時代の国際都市上海のガーデンブリッジ公園に行くと」『Dogs and Chinese are not allowed』と書いてある。このような不条



島校長

昭 和 17 年 12 月着任式を行う。海軍中将の軍服姿であった。「人を侮つて

はならぬ。今や敵は幕末に例えれば、浦賀沖に来ているのと同じ状況にある」と言っていたのを思い出す。また「Mainie」と突然流暢な発音でアメリカ海兵隊の強さを述べ、日本の陸戦隊と相異なる点を教示された。この二点が記憶に残っている。誠に頼もしい校長が着任したと喜んだ。



弛んでいる」から始まる。旧高校生は哲学的に云々する。その中に水兵服がいた。岡村先輩である。土浦海軍航空隊甲種飛行子科練習生と紹介し、実戦的な話を含蓄ある言葉で展開し全員を引き付けた。マンチャンこと加藤織右衛門先生は目を細めて喜び最後は恵比須顔になったのを忘れない。最後に思い出の先生を一人。マンチャンは生徒監部の中心的存在で1、2年生の各個教練を担当、保健は全年をみる厳しくまた優しい古参陸軍大尉である。卒業生には誰にもやさしい顔を見せ接する。もう一人佐賀訛りのある有吉先生は本校の大先輩であつたがそのことをおくびにも出さず「作業農業」を担当した。生徒監部の2階で工作を、その東側に園芸実習場があり、農業を通じて土の尊さを教え、学校の借地久米川では備中鍬を使用、開墾を交代で汗を流し、果実を生徒に分配し「正に地の塩」となる事を教育された。綽名の「赤豚」など気にしない九州男児であつた。

昭和19年卒 吉成 正さん 寄稿



修学旅行禁止
海城に入学したのは昭和15年。紀元2600年記念に国民が踊らされて

いる間に、国家統制が次々と発せられ、モチ・砂糖の切符制、うどん・そばも統制、ぜいたく廃止令、駅の掲示板の英語表記全廃、日独伊三国同盟、大政翼賛会発会、国民服令（カーキ色の服を国防色と称し、中学の制服も国防色に戦闘帽、女子学生は紺一色でセーラー服は禁止）となった。戦時色が一段と激しくなった。

クラブ活動に庭球部に入ったのだが、一度もラケットを振ることなく部は潰れてしまった。一番がっかりしたのは修学旅行が禁止となったことだった。中学に居る間には外国に行けるものとばかり思っていたので、修学旅行がなくなったのはとても残念に思つた。

学園時代の思い出

当時海城学園の入試の競争率は2倍強だった。入学当時の月謝は6円50銭、翌年7円に値上げされ、小遣いは3円程度だった。昭和16年に中学校の体育に滑空訓練が導入された。海城ではそれに先立ち9月に滑空部が設立された。顧問は長渡信久先生（社会・東洋史）で、5年生の部長に4年生2人と我々3年生の3人の計6名で文化祭

昭和19年卒 小田定朗さん



家が荻窪だったので国電で大久保に出てそこから歩いて通っていた。周りは何にもなかったな、住宅で原っぱだった。ただ私は親父も海城だったこともあつて先生方には可愛がられました。入学時の口頭試験の面接官が竹の鞭で叩くの有名なだった太田忠徳先生でしたが、「おやじは元氣か」と聞かれただけでした。また3年から卒業までクラスの担任だった英語の本多孝一先生には進学や就職まで随分とお世話になりました。

他に先生の思い出では漢文の森先生（森茂先生）は仙人みたいな人だった。東洋史



の長渡信久先生はやたら喋りまくるのでテープレコーダーと言っていた。でもその先生は「陸軍は嫌いだ」みたいな事をよく言っ

自分で実験や模型作り

すでに文部省型初級滑空機の5分の一模型を作ることを命じられた。毎日昼休みと放課後に手分けして制作、10月末の文化祭に転じできた。芸芸部長の辰濃尚次郎先生（理科）から褒美にノートを頂いた。このノートも中身とともども保存してある。

学校の授業では理科の実験がないのが不満だった。自分で材料・薬品などを買つて実験をすることにした。淀橋図書館がすぐそばにあつたのでいろんな本が借りられた事も幸いだった。

ラジオやトランシーバー、モーターなども作つた。飛行機の模型は50機以上も製作し、淀橋浄水場の西にあった六校社（後のサクラフィルム）のグラウンドでよく飛ばした。那古でフロート付き水上ライトプレーンの模型の離水飛行をしたこともあつた。火薬の製法も淀橋図書館に通つて勉強し、黒色火薬

昭和19年卒 川島良夫さん 寄稿



昭和14年4月 “海城中学校”と私を結んだ糸が半世紀を越えても今なお連なっている。これは今

まで数多くの先輩後輩の方々のご努力のおかげであると感謝している。私が当時通学していた前半3年はあの大戦の最中だったが、授業は変わりなく続いていた。校門をくぐり登校すると石畳の通路が校舎に向かつて一直線に続くとき大きい校舎はさながら軍艦のように見えた。この感動は卒業するまで続いた。

毎日が楽しかった。授業の時も昼休みで校庭を駆け回り、野球をしたり、青春の日々は今思うと人生の華だった。3年の時はじめて学徒動員で「桜ゴム製作所」へ勤勞奉仕に行った。作業もさして辛くなくて気分転換ともいえたようだった。桜護謄製作所には縁があるらしくその後2、3回奉仕に行った記憶がある。そのほか郊外の久米川に学校の農園があり、慣れぬ俄か農民になつて鍬をふるつたものだった。3年の後半になる

海城中学校と私



と体力が検定が始まった。この検定は伸び盛りの生徒たちにとつてはかなり厳しいもので、60キロの米俵を50メートル何秒で行くか、立ち幅跳び、鉄棒、手投げ弾の距離、100メートル走、二千メートルのそれぞれのタイムレース。体力には自信のあつた私も二千メートルは苦手だった。家に帰ってから夕方練習に励んだ結果、4年の秋にやっと上級バッジを頂くことができた。

授業は順調に進んでいた。今でも森先生、太田先生、そのほかの先生方の黒板に向かつておられる姿をまざまざと思ひだす。特に三枝先生の印象は強烈である。冬にはいつた頃のある授業、国語の時間に

とすると学生服を捕まえて離さない。「まだ説明が終わっていない」とさらに10分以上も説明が続いて、次の授業は遅刻させられた。

正月に坂井先生の自宅へ新年のあいさつに行つて驚いたことは玄關の下駄箱の上から部屋中が本だらけで畳が見えない。「私の家は貧乏だったので上の学校へやつてもうえなかった。それで働きながら本を買い独学で検定試験を受けて教員の資格を取ったのでこんなに本が貯まった」とのことであつた。脱帽の最敬礼のものであつた。最も尊敬できる先生であつた。

4年の時の担任、本多孝一先生（英語）からは満洲で馬賊の親分になつた伊達順之助（大正3年卒）が教室で黒板拭きをピストルで打ち抜いたことや関東軍の影武者として働いたことなどを何度も聞かされた。海軍経理学校を受験するも色覚検査で

私の作文を皆に朗読してくださいとことがあつた。「よく書けた文章だ」とほめられて私ははしかかつたがその半面得意であつた。それから二三日経つて三枝先生から学校の「海原」の編集をやつてくれといわれ三階の図書館室に行つた。ガラクタで「ゴミミ」した部屋を片付けた時私は何号かの「海原」をみつけた。それはB5で80ページほどの本だった。内容はほとんど忘れてしまつたが「われも紅」の一文だけは覚えていた。素晴らしい文章であつた。私は打ちのめされたことを今でも覚えていた。これは大変だとその日から部屋の片づけと掃除に明け暮れた。しかし学期末も迫り試験も始まつたので「海原編集室」へ行くことも少なくなつた。年が明けてもやはり作業は進まなかつた。三枝先生もそのことはご承知らしくなにもおっしゃらなかつた。今でも残念である。三枝先生のお手元に「海原」をお届けできなかったことを。

「今はすべてが過去になつてしまつた。再び目の前に現れぬ不確かな点で、夢と同じくはかない過去である」と漱石は書いた。まづたくその通りであろう。しかし私はもう一度目の前にあの頃の私の姿を見たい。

陸軍に忌避感



を見かけるくらいでした。子供のころから剣道をやつていたので中学では柔道をやりま

校では心身ともに鍛えられました。喧嘩は良くやつてました。改善の生徒と裏の原つばで乱闘事件を起こしたこともありましたが、私はちやうど学級委員長だったので、後で先生から呼び出され「学級委員

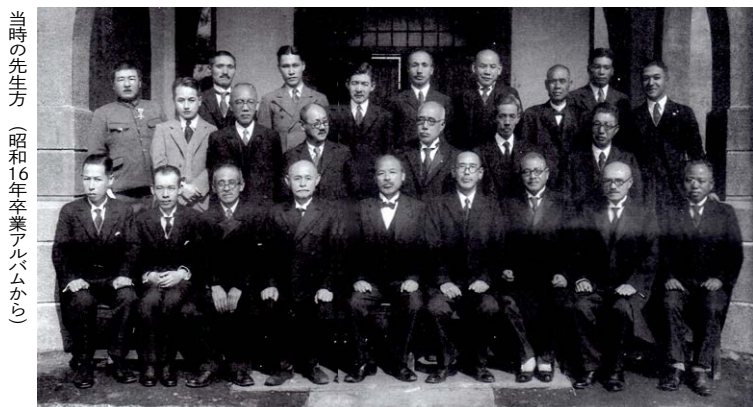
長まで喧嘩に加わるとは何事か」と怒られたものです。

海軍の学校

学校の周りに陸軍の射撃場などがあり陸軍の兵士を目の当たりにしていたこともあつて「陸軍の兵隊だけに はなりたくない」と思っていました。陸軍から配属将校が来て軍事教練をやるのですが、ある時私がいい加減にやつていたら教官が「貴様何



そこを卒業するころ戦況はさらに悪化してまして、そのまま卒業して戦争に巻き込まれるのもと思ひ中学の担任だった本多先生またにいろいろ相談したら満鉄の紹介を受けました。本当に先生方にはお世話になりました。（取材まとめ 小西洋也）



当時の先生方（昭和16年卒業アルバムから）

やつてんだ。爆弾が落ちてきたらどうするんだ」というので「どうしようもないでしょう」と口答えしたんです。その顛末を聞いたある先生は「お前なかなか言うな」といつていました。やはり陸軍に対してなにか反発するところがあつたと思います。私は特別におがめはなく教官からの制裁も受けませんでした。が、教練検定合格証というものをもらえなかつた。

戦争に巻き込まれないと思ひ

4年ぐらいになると進路を決めないとありません。当時海城の学力レベルはそれほど高くなかつたと思ひますよ。東大合格者は一人か二人、早稲田慶応などへの進学者もそんなに多くなかつた。親父が貴族院事務局の速記部に勤務していたこともあつて、戦争の状況などいろいろな情報が入つて陸軍だけはやめた方がいいといつてました。お袋も浅草生まれの生粋の江戸っ子で軍にたいしては反発のみでした。結局清水商船学校に行きました。

今も人生の師利根山先生 レゾー(株)元副社長

山口昌男 さん
やまぐちまさお (昭和29年生)



それにしてもびつくりするほどの資料保存魔である。「小学時代から中学高校、大学時代の教科書や勉強ノート、作文やレポートや作品図面、友達の手紙、映画のチラシ、写真、さらに学園誌や学校新聞などなど、あらゆるものを保管整理していまも持っている」という。

利根山美術館に寄贈

そんななかで昨年、中高時代の保存資料の中から、昭和27年5月8日発行の海城新聞に掲載されていた利根山光人先生(国語と美術)の随筆を見つけた。題名は「白い雲」。「好奇心に目を輝かせる少年との出会いを書いたボエムのような小説で利根山先生の人となりが分かるような文章でした」。山口さんはこの一文を岩手県の北上市にある利根山光人記念美術館に送った。絵画だけでなく文章でも独創的な感性を持つていたことを示す資料として価値があると判断したからだ。「美術館に展示するともに広報紙でも大きく掲載されました。資料提供者として私のことを画伯の海城学園教諭時代の教え子と紹介してくれました」とうれしそうだ。

人生変えた出会い

「利根山先生との出会いは自分の人生を変えるものだったと言います。『戦後の何にもない焼け野原の時代です。そこでゴッホが耳を切った話とかゴーギャンがどうだセザンヌがどうだと熱く話してくれた利根山先生の印象は強烈でした。軍国少年だった私に全く新しい世界を見せてくれたのです』。この衝撃的な出会いで知的好奇心を目覚めさせた山口少年は「まだ木造の建物だった新宿の紀伊国屋によく行きました。2階に画集とか洋書売り場があつてそこが私の図書館でした」「本をよく読んだし映画も週に2回は観に行つた」という学園生活を送る。これも保管してあつたという高校2年当時の生物の授業ノートを見せてくれた。細胞や器官の詳細なイラストとともにびっしりと書き込まれたノートはダビュンチの遺稿のような趣すらあるものだった。

社会で生きる美意識

先生にあげられて一時は「小説家とか美術史を学んで美術評論家になりたい」と考えることもあつたという山口さんですが、結局は美術・芸術世界とは離れた実業の世界へ進んだ。

とはいえ芸術世界とは縁遠いと思われ

るビジネス社会でもいろいろな場面で利根山先生の教えを思い出することがあつたといえます。「海外のトップクラスの経営者たちは皆、文学とか哲学とかビジネス以外でもすごい知識をもっています。そういう人たちと太刀打ちする力を私たちも持つてないといけない。たとえば美術館で説明文のない絵画を観てそれが解るような知識教養が求められるような。その知的好奇心、向学心、新しいものを見る目など」「自分の美意識や美的感覚、審美眼といったものは利根山先生から授かつたものだと思っています」。

向学心衰えず

「心臓病で入院しているとき心電図の読み方を入院中に勉強しました」というほど向学心の衰えない山口さん、今こつているのは「1800年半ばの英ヴィクトリア朝時代のアルファベットを使ったカリグラフィ」だそう。日本でそれを書ける人は何人もいないとか。そしてそのような自分を育ててくれた原点となった中高時代の保存資料を改めて整理して、特に利根山先生に関する資料をまとめまた記念美術館へ寄贈することを考えている。

(小西洋也 記)

同行して

ビックリした。山口さんがトネサン(利根山光人先生)の事を。海城時代の資料を抱えて持ってきた。電話で取材申込みをした時ちよびり知つてはいたが、私は笑いながら、「山口さん! トネサンの話じゃないんです。山口さん御本人の取材なんです」。

すると山口さんは「そう言つたつて私にとってトネサンは神様です。トネサンなくして私は語れません」。

案の定、山口さんは海城時代を語つてもトネサンが出てくる。参った!

引退された山口さんの会社は旧社名は聯合紙器(株)で、板紙・段ボールを中心とする紙製の包装資材を製造する業界では最大手。

昨今、話題の不燃段ボールの用途開発の革新企業でもある。今、山口さんはわが子のような会社を温かく見守つてに違いない。そして革新的な新しいものが、人生の中でトネサンの人間性とし新しいものへの好奇心が大きな原点として今でも生きているに違いない。(交詢社にて 山本満男 記)

われら 海城人

国際的アクションスター 武道家

倉田保昭 さん
くらたやすあき (昭和30年生)



武道家にしてアクションスターとしても現役の倉田保昭さん。Gメン75「香港空手シリーズ」の草野刑事と言えば40代半ば以降の方には馴染みだろう。

子供の頃から空手

倉田さんは受験のときに旧本館を見て海城に入りたいと思つたという。8才から空手を習つていたが、海城時代は柔道に打ち込んだ。白井先生の指導の元、正月以外は全て練習という柔道漬けだったという。

柔道部の先輩に誘われ、当時強豪だった立教アメフト部を目指したが、残念ながら不合格。1年の浪人を経て、日大の芸術学部へ進学

武道を武器に俳優へ

大学卒業後は下積み時代が続き、俳優としての基本ができていないと悩むときもあつた。そんなとき、オーディションに合格し香港で映画に1本出られることになった。日本から香港映画に出演する者などいない時代、友人からは真顔で「サーカスに売られちゃうよ」と心配されたという。

出演した「悪客」ではいきなり準主役で、スターを生み出す名人といわれた監督に見いだされる幸運を得た。とんとん拍子に何本か出演したが、香港映画で日本人役というと敵役の悪人と相場が決まっていた。敵役を演じると現実とごちゃごちゃになった映画ファンから石を投げられたりする人もいたそうだが、倉田

さんには一切そういうことはなかった。こいつ、映画だけでなくホントに強いぞ。目の肥えた香港の映画ファンには武道で鍛えた倉田さんのアクションがホンモノということが分かつていたのだ。

常に真剣勝負の世界

香港でアクションスタートしての地位を確立するのと前後して日本のテレビドラマにも出演するようになった。ブルース・リーのカンフーブームもあり、和製ドラゴンとして紹介されることもあつたが、実は香港で映画デビューしたのは倉田さんの方がブルース・リーより先だ。

ブルースリーの急死でブームが一息ついたころに出演したのがGメン75。視聴率アップを目指して、「オレが全責任追うからやらせてくれ」と立ち上げたのが香港空手シリーズの始まりだった。キャストから何から全て倉田さんが仕切り、香港映画の仲間も力を貸してくれた。当時珍しかった海外ロケで香港の映画スターが大暴れるのだから、お茶の間はビックリ。みんなテレビにかじり付いて見たものだ。

「ライトノベル」で 作家デビュー

里見大空 さん
さとみおおぞら (平成17年生)



30歳にもならずには人生の総括をするのは早い気もするが、海城時代のことを訊ねると里見さんは海城の6年間で「人生でもっと充実していた時代だった」という。「勉強もしないで遊びや好きなことに没頭できました。成績が悪くても自分の居場所がありました」。プロの小説家を目指す覚悟を決めたことで「層その思いが強まっていたようだ」。

人生の目標はなかった

人生にはつきりした目標といたものを持たないまま大学に進学し、就職。でも「何か違う」と会社を1年で退職して、つい半年前まで個人塾で小中学生を教える日々を過ごしていた里見さんは昨年10月、講談社がラノベ文庫新人賞の作品を募集していることを知って初めての小説を書いた。「なにか自分で生み出すようなことをしたい」とは思っていたが、「文章を書いたこともなく、まして小説は初めての挑戦」だった。「締め切りに間に合

わせるようにわずか一カ月で二気書き上げ」応募した。それがいきなり最高賞である新人賞を受賞した。

懸賞小説で大賞

「ラブノ」というのは「ライトノベル」。昭和世代にはあまりなじみがないが、90年代の萌えブームやゲームやアニメの隆盛とともに若者層の間で広がった軽いノリで読ませる娯楽小説だ。里見さんが育った時代はまさにそのライトノベルの成長期と重なる。「それまで本を読んだりドラマを観て、自分だったらこんな世界だったらいいなとか、こんなキャラクターがいたらとか、いろいろ考えていた」ので実際に書き始めた時は「思っている気持ちのままの世界を表現できました。自信はあつたので佳作ぐらいには入るかな」と思っていたという。

プロの作家を目指す

この受賞をきっかけに里見さんは本格

に作家を目指す覚悟を決めた。名刺に作家の肩書を入れている。そしてすでに講談社の担当者のもとで受賞作の続編第二巻を書き上げたという。「2作目は受賞の後、3カ月くらいかけて書いたのですが、担当者からこれではダメだといわれ書き直しをいわれました。自分では自信があつたのですが・・・」と出版社の要求するレベルの高さや作者1人の思いとの違いを知らされ早くもプロの作家としてやってゆく厳しさを実感している。この世界、新人が生き残るのは5%ぐらいだという。でも創作の楽しさ、表現の奥深さというものを知つたいま里見さんは「できる限りは追求してみたいです」。これから出版社も本格的に売り出しを始めることになる。

宝箱の6年間

里見さんの中学高校時代の「唯一」の自慢は6年間を通じてずっと必殺読書人のベスト3に入っていたこと」だといいま

「もう一度、あの敵役とのアクションシーンが見たいと言われたが前作で死んじゃてる。じゃ、兄弟が復讐にやつてきたことにしよう、となつたこともある(笑)」。

香港空手シリーズはGメン75の看板となり、何度も続編が作られた。

動ける限りはやりたい

その後も台湾・香港・中国を中心に活躍を続け、現在、誰もが知る世界的映画監督からオファーを受けている。70才の今でもアクションは吹き替え無しだ。「海外で評価されるアクションはホンモノのみ。ボクは根っからの武道家。筋肉を見せるのではなく動きを見せるのです」。

香港と東京に空手道場、大阪にアクションクラブを構え指導者としても活躍する倉田さん。取材の最後にグツと拳を突き出して言つた。「これが60年以上鍛え上げてきたホンモノの武器です」。

(国井信男 記)

す。必殺読書人というのは図書館からの本の借り出しが多い人というのだそう。学期毎にランキングが発表されるという。里見さんは「1学期で常に30数冊を借りて読んでいました。学期によって順位が入れ替わることはありましたが、6年間通じてベスト3にいたのは私が初めてでした」。

その時は作家になることを意識して本を読んでいた訳ではないがいまから振り返れば、それが作家の原点になっていることは間違いない。しかも「その時代に観たテレビドラマ、友達と対戦したカードゲーム、漫画やアニメ、図書館から借りて読み漁つたSFなどの本、男子校の生活、すべてがいまの自分のバックボーンになっている」。海城の6年間はまさに「宝箱」である。これからの里見さんの活躍を応援したい。

(小西洋也 記)

11

創立125周年おめでとうございます



中村 真樹（平成2年卒）

医療法人社団絹和会 睡眠総合ケアクリニック代々木・院長

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-24-10 TSビル1階
TEL:03-3374-9112（http://www.somnology.com）

12

創立125周年おめでとうございます

税理士 **戸田 朗夫**（昭和62年卒）

税理士戸田朗夫事務所

〒165-0022 東京都中野区江古田 4-34-15 TEL. 03-3386-0984(代)
携帯 090-9827-5313 FAX. 03-3386-0985 E-mail akio@zei-toda.com

13

創立125周年おめでとうございます

臼田 頼仁（昭和54年卒）

勤務先：外務省 医務室
〒100-8919 東京都千代田区霞が関二丁目2番地1号
電話番号：03-3580-3311

14

祝125周年



赤堀 基樹（昭和56年卒）

赤堀社労士・行政書士事務所

〒260-0007 千葉県中央区祐光2-7-1-311
TEL.043-222-9393

15

創立125周年おめでとうございます

社会保険労務士 **益田浩一郎**（昭和56年卒）

益田社会保険労務士事務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町1-23-5 高橋ビル202
TEL.042-390-6854 Mail：info@sr-masuda.jp

16

祝125周年

弁護士 **田中純一郎**（平成3年卒）

 **セブンライツ法律事務所** **代表弁護士**
SEVEN LIGHTS Law offices

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5-2 ピュレックス麹町7階
TEL: 03-6261-4121 FAX: 03-6261-4122

17

祝125周年

小吹 優（昭和41年卒）

人間ドック・巡回健診・介護施設

医療法人優和会湘南健康管理センター

〒237-0063 横須賀市追浜東町3-53-12 TEL.046-867-2877
http://www.you-wa-kai.or.jp/

18

創立125周年バンザイ！

第125回海城祭は 9/17(土)・18(日)！

文化祭実行委員会・生徒会OB会一同

メーリングリストやっています。
OBのご連絡待っています！興味のある方は海原会HPより

19

創立125周年おめでとうございます

海城高校野球部OB会

野球部創部70周年のOB会記念行事を2017年1月に予定しています。詳しくは海城高校野球部OB会ホームページをご覧ください。
http://www.eupsychia.jp/kaijo/

20

創立125周年おめでとうございます

 **個別指導 自立学習塾**

我々も海城中学1年3組から数えて35周年です。

木村 勉 国井信男（昭和62年卒）

自立学習塾は私たちの登録商標です。（商標登録番号 第4216230号）

21

創立125周年おめでとうございます

本橋 賢一（昭和62年卒）

東町耳鼻咽喉科 院長

〒202-0012 東京都西東京市東町3-9-6 1F
TEL. 042-421-9230

22

祝！125周年

海原士業会

士業会は弁護士・公認会計士・税理士・弁理士・社会保険労務士・司法書士・行政書士・建築士・土地家屋調査士…、士業で活躍する海城OBの会です。
会員募集中！詳しくは海原会HPまで。

祝 創立 125 周年

記念広告

01



株式 関電工

上席執行役員 東関東営業本部長

金子 弘行（昭和49年卒）

02

創立125周年おめでとうございます

Hayabusa International

PT.APM JAPAN CONSULTING（インドネシア）
表参道税理士法人（日本）

代表公認会計士 **齋藤貴加年**（平成3年卒）

日本 03-5772-6601 携帯 +81-(0)90-4700-2962
mail saito@apmjc.com

03

創立125周年おめでとうございます。

井上宙史(平成3年卒)



井上宙史法律事務所

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂1-15神楽坂1丁目ビル8階
TEL:03-6265-3210 FAX:03-6265-3211 hirofumi.inoue@kjd.biglobe.ne.jp

04

祝125周年

田所 直喜（昭和58年卒）

海原メディア会会長 日刊競馬新聞社

海原メディア会ホームページアドレス
http://unabaramedia.com

05



あすウェル スポーツ 鍼灸整骨院

院長 **佐藤 彰展**（昭和51年卒）

〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋1-36-3-201（三軒茶屋駅徒歩3分）
TEL. 03-6453-2577 HP http://asuwell.com

06

創立125周年おめでとうございます

弁護士 **河村 敦志**（昭和63年卒）

佐藤総合法律事務所

107-0061 港区北青山 3-7-6 青山パラシオタワー6F
TEL. 03-5438-7865

07

祝125周年！

鈴木 武道（昭和62年卒）

人生流れ流れて出版社で本を
作っています。海原メディア会に棲息中。

連絡先：jinbowani@yahoo.co.jp

08

創立125周年おめでとうございます

石黒 淳一郎（昭和47年卒）

石黒楽儲保険 代表

ZVM01356@nifty.ne.jp TEL.090-8949-0283
新宿木鶏クラブ 世話人
海原ゴルフ会 第3、4回実行委員長

09

創立125周年おめでとうございます

岡田 友佑（平成14年卒）

北千住法律事務所

〒120-0034 足立区千住1-24-4 広瀬ビル2F
TEL. 03-3870-0171

10

創立125周年おめでとうございます

唐澤 洋（昭和41年卒）

公認会計士税理士唐澤洋事務所

105-0001 港区虎ノ門5-11-1オランダヒルズ森タワーRoP707
TEL. 03-6435-8073



湘南海原会 第39回例会を開催しました

平成27年11月27日、茅ヶ崎駅ビルの「活飛び」で第39回湘南海原会を開催いたしました。当日は昭和19年旧制海城中学校卒業の川島、福田氏の両先輩を始め8名が参加しました。昭和18年卒業で海軍兵学校卒業の河合会長は都合で欠席されました。今回から同級



(S 37 佐藤 誠)

海城36会 同期会 55年前のときめきを忘れずに

卒業55年を前に祝う会が11月27日、東京四谷・東京ガスのクラブで開かれました。卒業年度は昭和36年。「海城36会」に集う仲間48人が集まりました。

「元気でこれまで生きてこられた。そのことに感謝したい。大事なものは、私たちがかつて海城で同じ時間を共有したということです。この集まりを通して、何かを持ち帰ってほしい」と山田雅康会長。55年前、全員が新しい気持ちで高校生活をスタートさせた。これまで曲折はあったでしょうが、「卒業」ではなく「入学を祝う」としたところに、個人の来歴や事情を超え、今こそ当時の「ときめき」を思い起こそうという48人の思いが込められていました。

今回、はるばる海を渡りハワイから駆



け付けた立花幹史君が「海城でみんなと一緒に二時期を過ごした。今でもその頃のことを浮かんできます」と挨拶。奥様同伴で車椅子参加の坪秀敏君、盛岡市から出席した木下紘君と遠来の参加者も多士済々。独自の金箔油彩で知られる画家の大田國廣君が、海城学園の創立125周年を記念、自作の3点を寄贈することも報告されました。

宴たけなわ、豪華景品が当たる抽選会を開催。賞品を提供したのは、アパ

昭和41年中学卒同窓会 羽田昶先生を囲んで

2月6日、昨年に続き中学の同窓会を、羽田先生を囲み開催しました。今回は母校カフェテリアにて行いましたが、卒業



ル店を経営する林昭策君で、毎度のことながら一同深く感謝。アルコールが回つての談論風発は楽しく、とにかくみな元氣。「日本人の平均寿命を押し上げる」と意気軒昂でした。最後に重武茂任君が「このエネルギーを持ち続けまた再開しよう」と締め括り散会となりました。もちろん、2次会で四谷の夜に消えた者が多かったのもいつもの通りです。

See You Again!

(瀧本 喬)

昭和58年卒 竹田組クラス会 2年ぶりのクラス会

今回は夏目級長のストーカー的探求の結果、石黒・河合だけでなくとうとう竹田先生までたどり着き参加いただくことができました。

1月26日 午後6時半スタートと通知したのに6時過ぎから続々到着、乾杯を繰り返すローリングスタート。六本木ミッドタウン横の居酒屋「はし本」貸切でなんと5時間！当たり前ですがそろって(ほぼ)51歳。そろそろ現役店しまいに向かう年頃で、油っ気も抜け、髪の毛も抜け、高校生のとき素にもどろろある年頃。いたいたいの話があるんだか、延々とぎれることなくしゃべりは続く。あまり無理せずこれからもちよくちよく集まろうと申し合わせて11時過ぎ過ぎに六本木駅で散会。次回メンバー増員に向けおそらく夏目級長はまた張り切ってくれるはず。何もかも忘れて笑い続けたポイントに貴重なひと時でした。

りますので、是非ご参加ください。(矢野祐規)



分科会

海原土業会

今年の模擬裁判を検討

1月16日(土)、海城学園カフェテリアにおきまして海原土業会の臨時総会が行われました。

総会では昨秋の海城祭で行われた模擬裁判について中山恭章副会長(昭61卒)より報告があり、来期の模擬裁判のあり方について話し合われました。また、

平成5年卒(100代文実)の同期会 働き盛りの年代に

3月12日(土)新宿におきまして平成5年卒の同期会が行われました。

平成5年卒は海城祭の代に直すと100代に当たります。当日の参加者は100代文実のメンバーと彼らを担任されていた中村久憲先生、OBとして100代海城祭に関わっていた国井でした。

前日に生徒会長と食事をしていた小市くんが海城に寄った際、現役の文化祭実行委員長に挨拶を受けたのですが、それが125代とのこと。四半世紀が過ぎ

ました。実際、平成5年卒の子息が何人も海城に在籍している中村先生が親子2代を担当するということもあり、月日の流れを感じます。

みんな働き盛りの年代になり、世界中で超高層ビルの設計をしている者、東南アジアで財閥を立ち上げた者など、色々な場所で活躍するようになりました。前回集まったのが4年前、次回集まるのはいつになるかわかりませんが、いつま



【参加者】 関尚明先生 内田玄司先生 水野真之 山瀬慎一

平成14年卒 第11回学年同窓会 毎年1月に開催予定

1月23日(土)に毎年恒例の学年同窓会を母校カフェテリアで開催しました。毎年少しずつ参加者が増え、今年は20名を超える方々と、福島先生・石塚先生にお集まりいただきました。就職や独立後10年程経過し、皆さんが各方面で活躍している様子が窺えました。また、結婚した人も多くなってきた家族の話にも花が咲きました。

学年同窓会は、今後も毎年1月に開催予定です。在学時にはあまり話した事がなかった人とも意外と話が弾むものなので、是非ご参加ください！

案内の葉書きやメールが届いていない方は、kaiji2002@googlegroups.comまでご連絡ください。また、Facebookに「海城2002年卒」というグループがあ



でも変わらない仲間として集まれるのがいいところです。(S 62 国井信男)

会計を担当している戸田朗夫さん(昭62卒)より、海原会の会計幹事に専念するため退任の申し出があり、承認されました。



海原士業会では、会員を募集しています。興味のある方は海原会までご連絡ください。

海原医業会

新会長に雨宮氏を選出

1月16日(土)に海原医業会の総会が行われました。

平成26年3月に海原医業会が発足して2年あまりが経ちました。小吹優会長(昭41卒)の次の会長として、雨宮哲朗副会長(昭62卒)が就任することが決まりました。就任の時期は未定で、今後話し合われます。

海原医業会では会員を募集しています。興味のある方は海原会までご連絡ください。

海原メディア会

125周年誌の刊行を討議

2月6日(土)に第4回海原メディア会定例総会&懇親会が行われました。

今回は約20人が出席。今年には海原学園125周年を迎えることから、海原メ

アドレスまでご連絡頂くか、海原会ひろば等で随時情報(進捗・申込方法等)を発信していきます。今回の海原会総会でもご案内をする予定ですので、是非とも参加をご検討下さい。

野球部OB会

来年は創部70周年



1月11日(月)海城学園グラウンドにおきまして、野球部OB会・保護者会・現役生によるソフトボール大会が開催されました。

この数年、恒例となっていたこのイベント。硬式球は扱いになれていないと危険なのでソフトボール大会としています。これならしばらく野球から



ディア会で企画している海原学園125周年誌の刊行企画を主要議題として進捗状況と課題の討論が行われました。

その他、今後の活動計画、ディスカッションなど約1時間の定例総会を終えて、お酒を酌み交わしながらの懇親会へと移行。この1年間の近況報告や校歌斉唱などを行い、田所会長のもと2016年における海原メディア会のより一層の発展を誓い合いました。



★海原メディア会のメンバーである康芳夫さん(昭和31年卒)が4月から始めたMBS・TBSの深夜ドラマ『ディアスポリス 異邦警察』に出演しています。密入国外国人による秘密の自治社会「裏都庁」を舞台に異邦警察官・久保塚早紀(主演・松田翔太さん)の活躍を描く本作。康さんは「裏都庁」知事・コテツ役で登場して、主要キャストの一人です。このドラマは今夏劇場映画でも公開されます。

(S62 松長哲聖)

3分科会の合同新年会 異業界の交流刺激に

1月16日(土)に土業会・医業会・海志会の合同新年会が行われました。今

にたたき込む大ホームランをかつ飛ばす人もいました。

野球部は来年創部70周年を迎えることとなり、野球部OB会では記念イベントを企画しています。詳細はHPや会報「海原」にてお知らせいたします。

サッカー部OB会

1月10日に蹴り初め

1月10日、海城学園グラウンドにおきまして、サッカー部OB会が蹴り初めを行いました。この日に集結したOBは100人超。OBは昨夏に完成した人工芝の感触を楽しみました。



本日は長年海城高校サッカー部を指導されてきた半澤先生も元氣な姿を見せられ、教員たちがボールを追う姿を見つめていました。しゃい

サッカー部OB会では応援はもちろんユニフォーム提供など、現役が活躍するための後援をしていて、現役たちもそれに応えています。OB会では1月と8月にグラウンドを使って活動しているのと。海城高校サッカー部OBで久しぶりにボールを蹴りたい人は合流大歓迎です。

海城高等学校ラグビー部OB会

人工芝のグラウンド楽しむ

2015年12月5日、海城高等学校ラグビー部OB会が開催されました。ラグビー部創部より50年を迎え、当日は13時より新装なった人工芝グラウンドでタッ



回は約40名が出席。平均年齢は40歳前後という働き盛りの集まりになりました。様々な業界からの出席という点もあり、刺激になったという声が多聞かれました。また、たまたま出席してみたら20年ぶりに同級生にあって「お前、今こんなことしてるんだ」とビックリする人も。

3つの業種には接点がなさそうですが、弁護士(土業会)で裁判官(海志会)、外務省(海志会)の医官(医業会)、前衆議院議員(海志会)で医師(医業会)といった複数にまたがって参加されている方もいました。

来年以降も年に1度程度合同の会を開き、親睦を深めることを誓い、散会となりました。今回は事前準備をしてメディア会との合流も模索しています。

なお、会場となったフラットリアは渡辺順也さん(平成09卒)がオーナーをされているイタリアンです。

縦横無尽の地域OB会 世田谷会として発足

2016年2月16日(火)業種別海原会のメディア会・土業会。部活等では中



(S62 松長哲聖)

チラグビーを楽しむ、軽く汗を流した後にカフェテリアにて総会を開催、終了後は懇親会も開催され、総勢50名のOBが海城学園での思い出に話を咲かせてしました。

剣道部OB会

「戻り稽古」で汗を流す!

武道では一般的に他の道場に赴いての稽古を出稽古と言います。写真のお三方はこの度剣道部OBとして古巣の学園で稽古に励みました。さしずめ戻り



一人ずつ恩師の内堀八段の指導稽古を受け、順番を待つ間はもと立ちとして生徒の練習をお手伝いしていました。

指導稽古はかつての部活動の厳しさとは趣の異なり、やや緊張感を伴い落ち着いた打ち合いが続きました。今やベテラ



学サッカー部・文化祭実行委員会・生徒会。はたまた海原会ゴルフ大会の参加者。縦横無尽の縁で繋がった世田谷に係する海城OBで寿司会を行いました。

20代から50代までうまくばらけたOB8名。寿司屋の旦那が「どうして繋がっているんですか?」と真顔で聞いてきたのも無理からぬこと。とはいえ、当時の話をしてみると習った先生は結構かぶっていました。

中々、昨年度で定年をされた社会科の福田先生に關しては、新任のとき最初に中学サッカー部で指導を受けた卒年と、定年で最後に学年主任だった卒年が同じ席で酒を酌み交わしたのは印象的でした。乾杯のとき、大義名分が見つからなかつたのでどうしようかと話していたら、誰からともなく「世田谷支部設立おめでとうーカンパニー!」という声飛びました。ならば、世田谷支部設立ということなのかもしれません。

(S62 国井信男)

出席者 前列左から国井信男(昭62卒) 富田勝彦(昭51卒) 佐藤彰展(昭51卒) 後列左から遠藤行泰(平03卒) 岡本浩太郎(平02卒) 河村敦志(昭63卒) 大瀧靖峰(平07卒) 乙竹基(平26卒) ※全員、現在ないし過去に最寄り駅が世田谷区内か世田谷勤務の海城OB

文実生徒会OB会

「共学化」で論争

昭和晩年卒から近年卒まで、ちょうどいい具合に数年ずつ離れた今回のOB会。文実・生徒会是他校との文化祭交流など「外交」も担うことから、それぞれが印象に残った他校についてアンケートを取りその場で発表。するとこの30年の間に、海城が変わったように他校も変化を遂げていることがわかりました。



そんな中、いつの時代にも沸き起こる「海城共学化」案。私学の男子校、女子高が学校経営の理由から共学化したり、他府県では別学を通してきた公立の進学校まで強制的に共学化されている昨今ですが、「海城もそのうち」との意見があったり「ちょっと待った!」と横やりが入ったり。当文実生徒会OB会を長く引つ張ってきた昭和62年卒国井氏が昨年で退隠し、近年精力的に運営を担ってくれている若手にバトンが引き継がれました。今後は常連の集まりから、卒年の浅いOBが気

OB会だより

鉄道研究会OB会

今年も貸切電車見学会を企画しています。

鉄道研究会OB会では今年も貸切電車・見学会を企画しています。

前回(2013年)は静岡県の伊豆急行にて見学会のイベントも兼ね、部OB・海原会の皆様にご参加頂き、貸切電車の乗車・車庫の見学会を行いました。今年は10月22日に長野県の長野電鉄を予定しております。長野電鉄は長野から湯田中温泉を結ぶ路線であり、この時期は紅葉のシーズンのため車窓からの景色も期待できます。また日比谷線・東急線が使われていた昔ながらの通勤電車、JR・小田急線が使われていた特急電車も走っている路線でもあり、見応えのある路線となっています。



そして今回も前回同様、鉄道研究会OBだけでなく、一般会員の皆様も参加頂ける企画となっておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。詳細についてはinfo@kajitokenob.comのメール

現役生の活躍

軽に來れる場へ。文実や生徒会に携わった皆様、海城祭では海原サロンとセットで文実生徒会OB部屋を設けています。ぜひご参加ください。

(H5 高橋有仁)

高校サッカー部

秋の新人戦にて地区大会優勝
春の関東大会出場1回戦敗退
東京ベスト32

高校硬式野球部

春季大会出場 1回戦敗退



地学部

2015年全国高等学校総合文化祭
自然科学部門(地学)出場
第10回国際地学オリンピック出場決定
廣木颯太郎くん(現3年)



生物部

2015年日本生物学オリンピック出場
金メダル 小熊陽くん(現3年)
銅メダル 河野哲くん(現3年)
千代田創真くん(現3年)

海外支部

プノンペン支部

同窓の輪広がる

3月22日(火)空港関係の仕事で
されている山本裕さん(平1卒)が
プノンペンに訪問するのに合わせて、
プノンペン支部の総会が行われまし
た。プノンペン在住の小市琢磨さん
(平5卒)と山本さんは海城祭の実
行委員会の
先輩・後輩
という間柄。
2人が力を
合わせてカン
ボジアの発展
に貢献する
日も近いと
のこと。日本
とカンボジ
アを行き来し
ている北野
岳さん(昭55卒)はこのときに合わ
せ日本酒を持って参加。プノンペンに
は他にも海城OBがいらっしやるよ
うです。同窓の輪がさらに大きく
なることを期待します。
(広報委員会)



ハノイ支部

2人で忘年会

ハノイで活躍する海城OBは4〜5名ほど
います。昨年末に大木健司さん(平5海
中卒)と中正太朗さん(平18卒)の2名で忘年
会を行いました。SNS
での近況報告で旧交を
温め、次回は近くに居る
人に声をかけて集まろ
うと誓い合ったこと
でした。
(広報委員会)



バンコク支部

平成7年の同期会

バンコク支部の宮本裕一郎さん(H7卒)に
よると、1月25日(月)にバンコク支部の新年
会をしようとしたら、平成7年卒の同期会に
なつてしまったとのこと。さすが東南アジアの
要のバンコク。海城OBも両手で足りないほど
人数が活躍していますので、同期会まででき
てしまっています。
世界に広がる海城
ネットワーク。バンコ
クへ赴任される際は
海原会まで一声お声
かけください。
(広報委員会)



ジャカルタ支部

会員6名に

3卒)がジャカルタに転勤さ
れたのを機に、先にジャカルタ
で活躍をしていた齋藤貴加
年(平3卒)を支部長に、海
原会ジャカルタ支部が結成さ
れました。その後濱田雄二
さん(昭45卒)をはじめ3名
の方が合流し、6名になり
ました。
6月には釣り大会を実施
との情報もあります。ジャ
カルタ支部に興味のある方
は海原会まで一報くださ
い。(S62 国井信男)



ロス支部

ワイナリー巡りなど計画

系企業の接待用レストランも多数あるロサンゼ
ルス。ロス出張の機会がありましたら喜んでご
案内します。
さて、今年度のロス支部ですが、メンバーの懇親
を目的としたイベントも行いたいと考えていま
す。ロス周辺には南カリフォルニアを代表するワ
イン産地・テメキュラ(ロス市街から南車で約
2時間)があるため、旅行会社を経営する支部
長・宮田稔次さん(S45卒)の多忙な予定が空
き次第、贅沢にも会社の業務用バンを貸し切つて

ホーチミン支部

ゴルフツアーを企画

私が経営するヒーローゴルフではこの度カンボ
ジアアンコール航空とのコラボレーションでカンボ
ジア、ラオスのゴルフツアーを企画しました。東
南アジアでゴルフの未知の国カンボジアとラ
オス、両国共インフラが整備されていないので、
飛行機、ホテル、ゴルフ、カート、専用車、日本語
ガイドをひつくるめたパッケージにしました。ツ
アーにはハノイ発とホ
ーチミン発があります。興
味のある方はteam@
herogolf.asiaまでご連絡
ください。(S37 梶 宏光)



28年度大学入試結果概観

理科コースの2割が医学部進学

学習指導部長 森 昭大

今年3月の卒業生(27年度高3)は中学からの
入学生のみとなった3年目の学年です。卒業生は
287名で、文科コースが3クラス(97名)、理科コ
ースが5クラス(190名)の8クラスでした。
医学部志望が多い近年ですが、今年はその割合が
とくに大きかったのが特徴的です。これは国公立医
学部医学科の合格が今年も堅調であったことに加え、
私大医学部に進学した現役生が16名と多かったこ
ともも表れています。理科コースではクラスメイトの
2割が国公立大または私立大の医学部に現役で進
学したことになります。今まさに再挑戦中の卒業生

勝負になったと思います。例えば、東大前期入試
については9割(810点)を取つていても2次試験
でのアドバンテージには必ずしもならなかったよう
です。われわれ教職員一同はこの結果を真摯に捉え、
各々の生徒が志望している進路を叶えるために今一
度英知を結集し、汗をかいてまいる所存です。
今年度から東大で推薦入試が始まり、本校から
は中山悠翔君が理学部に合格しました。中山君は
化学クラブリで銀賞受賞、国際地理オリンピック選

拔大会で金メダル受賞と活躍目覚ましい生徒でした。
今の海城生は勉強しているだけではありません。生
物学オリンピック、地学オリンピック、情報オリンピッ
クなどに挑戦し活躍する生徒も増えています。是非、
本校ホームページの「生徒を知る」で変わらつたあ
る今の海城生をご覧いただければ幸いです。
現役進学率は62・7%で、ここ3年間は6割を
超えています。半数浪人が当たり前だったのは過去

の話。OBの方々には隔世の感があるのではないでし
うか。最近の高校生は現役志向、安全志向とよく
言われますが、現役志向と安全志向は似て非なる
ものです。中高一貫になった今、現役志向ではあつ
てしかるべきですが安全志向であつてはならないと
思います。難関に立ち向かう海城生であつてほしい。
そのためには、物事を教え込むだけでなく、挑戦す
る芽を出させる仕掛けを作っていくことも学校の大
事な役目だと思っています。

私立大学

	学部	総数	医	現役	医	卒業生	医
早稲田大学 合計 126 (現役90, 卒業生36)	文	4		3		1	
	文化構想	4		4		0	
	法	9		7		2	
	政治経済	26		18		8	
	商	13		10		3	
	社会科学	7		7		0	
	教育	7		5		2	
	人間科学	4		4		0	
	国際教養	3		1		2	
	基幹理工	14		8		6	
	創造理工	14		12		2	
	先進理工	20		10		10	
慶應義塾大学 合計 99 (現役70, 卒業生29)	スポーツ	1		1		0	
	文	4		3		1	
	法	12		10		2	
	総合政策	0		0		0	
	経済	20		16		4	
	理工	20		15		5	
	理工	31		18		13	
	環境情報	2		1		1	
	医	4	4	3	3	1	1
	薬	6		4		2	
	岩手医大	1	1	0		1	1
	埼玉医大	2	2	1	1	1	1
岩手医大 埼玉医大 獨協大 文教大 千葉工大 東京歯大 青山学院大 亜細亜大 学習院大 北里大 杏林大 工学院大 国学院大 国際基督教大 駒澤大 芝浦工大 順天堂大 上智大 昭和大 成蹊大 成城大 専修大 大東文化大 玉川大 多摩美大 中央大 帝京大 東海大 東京医大 東京慈恵会医大 東京農大 東京薬大 東京理大 東邦大 東洋大 日本大 日本医大 日本歯大 日本獣医生命科学大 法政大 武蔵大 東京都市大 明治大 明治学院大 明治薬大 立教大 麻布大 マリアンナ医大 金沢医大 帝京科学大 藤田保健衛生大 立命館大 大阪医大 関西医大 松山大	文	1		0		0	
	法	1		1		0	
	経済	0		0		0	
	教育	0		0		0	
	総合人間	1		1		0	
	理	0		0		0	
	工	1		0		1	
	医	1	1	1	1	0	
	薬	0		0		0	
	農	1		1		0	
	法	1		1		0	
	経済	6		6		0	
一橋大学 合計 15 (現役14, 卒業生1)	商	4		4		0	
	社会	4		3		1	
	第1類	2		1		1	
	第2類	1		0		1	
	第3類	1		1		0	
	第4類	6		6		0	
	第5類	3		3		0	
	第6類	0		0		0	
	第7類	2		2		0	
	帯広畜産大	2		0		2	
	北海道大	6		4		2	
	弘前大	2	2	0		2	2
東京工業大学 合計 15 (現役13, 卒業生2)	岩手大	1		1		0	
	東北大	7	4	5	3	2	1
	秋田大	1	1	1	1	0	
	山形大	3	3	0		3	3
	筑波大	9	4	9	4	0	
	群馬大	3	2	3	2	0	
	埼玉大	1		1		0	
	千葉大	8	4	5	3	3	1
	電気通信大	2		1		1	
	東京医歯大	5	3	4	2	1	1
	東京外大	2		0		2	
	東京芸大	1		0		1	
東京農工大 横浜国立大 新潟大 富山大 信州大 浜松医大 滋賀医大 大阪大 九州大 福島県立医大 高崎経大 首都大東京 横浜市立大 岐阜薬大 京都府立医大 防衛医科大学校 国公立大学・大学校総数	東京農工大	6		5		1	
	横浜国立大	4		3		1	
	新潟大	1		1		0	
	富山大	5	5	1	1	4	4
	信州大	3	3	1	1	2	2
	浜松医大	3	3	2	2	1	1
	滋賀医大	1	1	0		1	1
	大阪大	2		1		1	
	九州大	2		0		2	
	福島県立医大	1	1	1	1	0	
	高崎経大	1		0		1	
	首都大東京	5		3		2	
私立大学総数	横浜市立大	2	1	1	1	1	
	岐阜薬大	1		0		1	
	京都府立医大	1	1	0		1	1
	防衛医科大学校	8	8	4	4	4	4
	国公立大学・大学校総数	165	47	109	26	56	21

※「医」は医学部医学科の合格者数(東大理Ⅲは除く)

謹んでご冥福を お祈り申し上げます。

訃報

昭23	花井 威	昭23	花井 威
昭50	望月 伸治	昭50	望月 伸治
昭43	上地 健	昭43	上地 健
昭47	大塚 英之	昭47	大塚 英之
昭20	高見平一郎	昭20	高見平一郎
昭44	榊 凡夫	昭44	榊 凡夫
昭36	新井 昇	昭36	新井 昇
昭27	糸井 洋一	昭27	糸井 洋一
昭29	森山 富夫	昭29	森山 富夫
昭35	高橋 昌徳	昭35	高橋 昌徳
昭18	篠崎 義人	昭18	篠崎 義人
昭44	古屋 佳昭	昭44	古屋 佳昭
昭43	藤原 勉	昭43	藤原 勉
昭20	飯田 稔	昭20	飯田 稔
昭19	大城 敦之	昭19	大城 敦之
昭24	矢田部幸雄	昭24	矢田部幸雄
昭29	三浦 裕一	昭29	三浦 裕一
昭41	米田 信春	昭41	米田 信春
昭31	梅田 英明	昭31	梅田 英明

前号で川島一晃さんのお名前を掲載し
ましたが間違いました。ご本人および
関係者の皆様に大変ご迷惑をおかけし
ましたことをお詫びいたします。

永年会費納入者

(敬称略)

平24	野口 直寛	平21	貫井 洋
昭53	加藤 雅一	昭55	高田 実
昭31	田村 健次	昭41	福原 修
(三万二千円)		昭63	小林 英将
平23	山本修太郎	平27	松島 昭典
平27	福田 康孝	平26	小池 優毅
平27	山口 哲	平19	尼子 雄大
平27	吉田 遵	平02	根岸 裕
平19	張 天逸	昭26	夏目 之夫
平19	堀川 一彦	(五万円)	
昭60	藤田 辰広	昭63	中山 啓
平24	南部 耕介	平23	福山 鴻
平20	南部 祐一	平23	直津 武人
平20	鳥羽 堯郎	昭48	山田 康雄
昭46	齋藤 昭廣	平25	栗飯原亮太
昭55	坂井 史明		
平21	新井 恵太		

平成27年4月から
平成28年3月まで
(受領日順)

永年会費を納入されている方にも、封入作業の都合で、会費の振込用紙が同封されていますが、ご了承ください。